



学都 サイエンスデイ

2007
2016
10th
Anniversary

主催: NPO 法人 natural science

災害と

対話フォーラム

あなたの残したい未来社会

心豊かに 生きたい

海に囲まれ、四季に恵まれた日本は、
深刻な災害とくらしの再生、
自然との共生を歴史に刻んできました。
科学技術の発展した現在では、
世界最先端の自然災害科学研究が進められています。
優れた知識や技術は、
大災害によって大きなダメージを与えられた
人々のこころ、人と人との関係、
そして社会を再生させるための大きな助けになります。
しかし、それだけで十分でしょうか？
科学や技術は何を目指して発展するのでしょうか？
20年、30年後、わたしたちは何に幸せを感じ、
どのような社会を求めているのでしょうか？



2016年7月17日(日)

13:00~15:00

東北大学 百周年記念会館川内萩ホール (川内キャンパス内)

主催: 国立研究開発法人科学技術振興機構科学コミュニケーションセンター

共催: 東北大学 東北大学災害科学国際研究所

宮城県多賀城高等学校 NPO法人 natural science

参加申し込み <http://www.science-day.com>

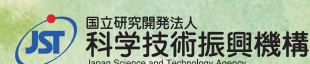
お問い合わせ katsudo@jst.go.jp

参加費
無料

定員1000名



incorporated nonprofit organization
natural science
知的好奇心がもたらす心豊かな社会の創造にむけて



心豊かに 生きたい



タイムテーブル / 登壇者

13:00~13:10	講演 「実践的防災学」の創成と国際連携の現状 奥村 誠 東北大学災害科学国際研究所 副所長 災害交通の専門家。交通基盤、地域・都市計画の実務への協力を行いながら、災害に強く、支援をしやすい地域づくりに取り組む。	
13:10~13:50	講演 「立ちなおっていくチカラ」 金田 諦應 傾聴移動喫茶カフェ・デ・モンク マスター、曹洞宗通大寺 住職、 東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄附講座 諮問委員、 日本臨床宗教師会 副会長 震災直後の2011年5月から、被災者の話を聴く「傾聴活動」「カフェ・デ・モンク」を主催。移動式の喫茶店で、軽トラックにコーヒーやケーキなど道具一式を積みこみ、様々な宗教・宗派の宗教者と共に、週に1度仮設住宅などを訪問。傾聴を通じ、被災者が抱える“心の問題”に寄り添う。	
	講演 「心豊かな暮らしのかたち」 石田 秀輝 合同会社地球村研究室 代表、東北大学 名誉教授 (株) INAX (現LIXIL) 取締役CTOを経て、2004年より東北大学教授。快適性や利便性のみを追及する「依存型」から、不便さや不自由さを受け入れる「自立型」のライフスタイルへと移行するための、新しいものづくりや暮らしのかたちを提案。現在は鹿児島県沖永良部島を拠点に、「間抜けの研究」に取り組む。	
13:50~14:45	トークセッション ～あなたの残したい未来社会 奥村 誠 × 金田 諦應 × 石田 秀輝 コーディネーター 板橋恵子 ～ 多賀城高校災害科学科のみなさんを交えて ～	
14:45~15:00	ミニコンサート ヘンリ・タタル(仙台フィル) & 木下順子	



東北大学百周年記念会館 川内萩ホール (川内南キャンパス内)

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 40

交通案内: <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/access/>

●地下鉄 東西線

- ー ルート 1 仙台駅から国際センター駅まで 5 分 ※国際センター駅 下車 西 1 出口から徒歩約 5 分 (扇階段経由)
- ー ルート 2 仙台駅から川内駅まで 6 分 ※川内駅 下車 南 2 出口から徒歩約 7 分 (川内北キャンパス内経由)

東北大学災害科学国際研究所所長の今村文彦教授をパーソナリティに迎えた防災啓発番組を2004年から制作。災害時の非常食のレシピを募集する『サバ・メシ*コンテスト』を企画・実施するなど、震災前から、防災・減災に取り組む。震災後は、ラジオ版『カフェ・デ・モンク』のパーソナリティを務め、ゲスト・インタビューを通じて、震災後を生きるヒントを発信。

エフエム仙台 防災・減災プロデューサー

板橋 恵子

